

『東豊台校区地域自治協議会』設立趣意書

私たちの住まう東豊台小学校区は、豊中市で最も標高の高い島熊山から南に下る、景観のよい閑静な住宅地として人気の高い地域です。かつては竹林や果樹園が広がる里山でしたが、東豊中団地が関西 5 大団地の一つとして建設され、北大阪急行電鉄の開業、バス路線の再編や道路網の整備に伴い、マンションや社宅、住宅が次々と建設され大きく発展してきました。

東豊台小学校は、そうした発展に伴う人口増／児童増に対応するべく、昭和 49 年（1974 年）4 月、東豊中小学校から分離し 33 番目の小学校となりました。

東豊台校区には東豊台まつりをはじめとする地域行事があり、各地域団体、自治会が協力して開催していますが、いずれも担い手不足や高齢化を感じています。

その一方で、「地域活動に興味がある」住民意見も多数あることがわかっています。

幅広い住民の参画を図りながらコミュニティ活性化を図ることができる地域自治のあり方を検討するため、「東豊台校区地域自治検討会」（令和 7 年）を立上げ、昨年 11 月に「地域自治アンケート」で住民意見をヒアリングし、課題を整理し、取組の方向性を検討してきたところです。

以上を踏まえ、「ビジョン」ならびに「取組項目」を下記のとおり定め、ここに「東豊台校区地域自治協議会」の設立を宣言します。

●東豊台校区地域自治協議会のビジョン

「手と手を取り 守り育て羽ばたきつなぐ ふるさと東豊台校区」

●協議会での取組項目

- ・豊中市との協議事項の窓口
- ・地域活性化等支援

（イベント開催・情報発信・団体等の側面支援・その他必要と認められる協議等）

令和 8 年（2026 年）4 月 26 日